

タウンとびっくす

T o w n t o p i c s



『きもの着付選手権全国大会で入賞』

7月17日(日),神戸ポートピアホール(兵庫県)において,第33回全日本きもの着付選手権大会が開催されました。

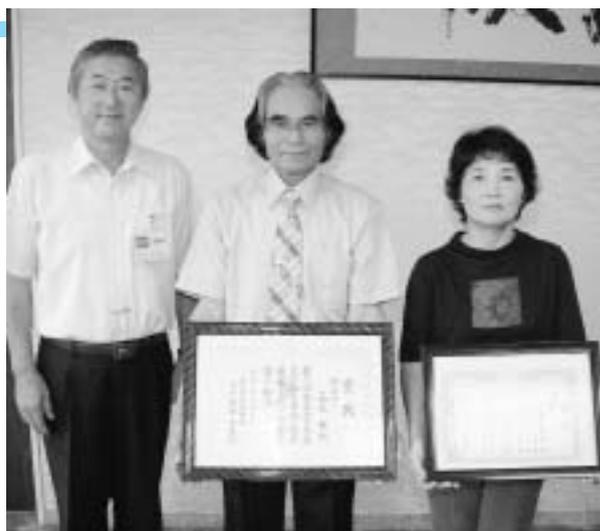
この大会は,きもの着付技術向上のため,全国から地区大会を勝ち抜いた代表選手144人が,日本一を目指して競うもので,日本和装学園大隅本校(大崎町・溝口千恵子学園長)から4人が参加しました。振袖の部では豊重真由美さん(横内)が8位,濱脇綾美さん(下益丸)が13位と,ともに優秀な成績を収めました。また,豊重さんは開会式で全国大会の選手代表として選手宣誓も行いました。

『水墨画 浜田真喜子さんの作品がパリへ』

第20回全国公募南九州水墨画展(平成17年7月5日~7月10日)が,鹿児島市立美術館で開催され,秀作賞を受賞した浜田真喜子さん(文化通)の作品が,9月からフランスのパリ国立海洋博物館で開催されている『墨画-松下美術館の軌跡-展』に出品されています。

町が主催する生涯学習で水墨画を習い始め,今年で5年目という浜田さんは「まさか,自分の作品が秀作賞をいただけるなんて思ってもみませんでした。また,その作品がパリの人々にも見てもらえるとはとても光栄です。」と話されました。

また,生涯学習で水墨画の指導をされている長友繁さん(野方学校区)も,第28回全日本水墨画展(平成17年6月開催)で奨励賞を受賞されました。長友さんは「月に1回,東京の水墨画の教室で指導を受けている成果が現れました。そこで学んだことを,地方へ広めていければと思っています。」と話されました。



『弓道7段を取得』

諏訪下集落にお住まいの下村繁夫さんがこの度,弓道7段を取得されました。弓道の級・段位には,5級から10段まであり,段位が上がるほど資格基準は厳しく,7段を取得しているのは,曾於地区では下村さんがただ1人とのことでした。

鹿児島県弓道連盟の理事を務められている下村さんは『教士』の称号も取得されており,昇段試験の審査や講習会,指導なども行っています。

下村さんは「7段を取得でき,たいへんうれしく思います。今後も弓道の普及に努め,1人でも多くの方に伝えていければと思っています。弓道は日本古来の礼儀作法が自然に身につく,基本を覚えれば1人でも楽しむことができます。年齢・男女を問わず,体力に応じた強さの弓を使い,練習時間も自由に調整できますので,興味のある方はぜひご連絡ください。」と話されました。



連絡先…大崎町役場社会教育課 TEL 76 - 1111 (内線 411)